

文部科学省宇宙航空科学技術推進委託費
「宇宙×人文社会」分野越境人材創造プログラム

立命館宇宙マネジメントプログラム

立命館大学大学院テクノロジー・マネジメント研究科 研究科長・教授
立命館大学宇宙地球探査研究センター(ESEC)副センター長
湊 宣明

募集説明会

2026年4月10日 びわこ・くさつキャンパス
2026年4月13日 衣笠キャンパス
2026年4月14日 大阪いばらきキャンパス

プログラム代表者

湊宣明 (みなとのぶあき)

[職歴]

宇宙開発事業団(NASDA)
宇宙航空研究開発機構(JAXA)
文部科学省(MEXT)研究開発局宇宙開発利用課宇宙利用推進室(出向)
慶應義塾大学大学院助教、特任准教授
立命館大学大学院教授・研究科長

[学位]

博士(システムエンジニアリング学, 慶應義塾大学)
修士(航空宇宙管理学, 仏トゥールーズ経営大学院)

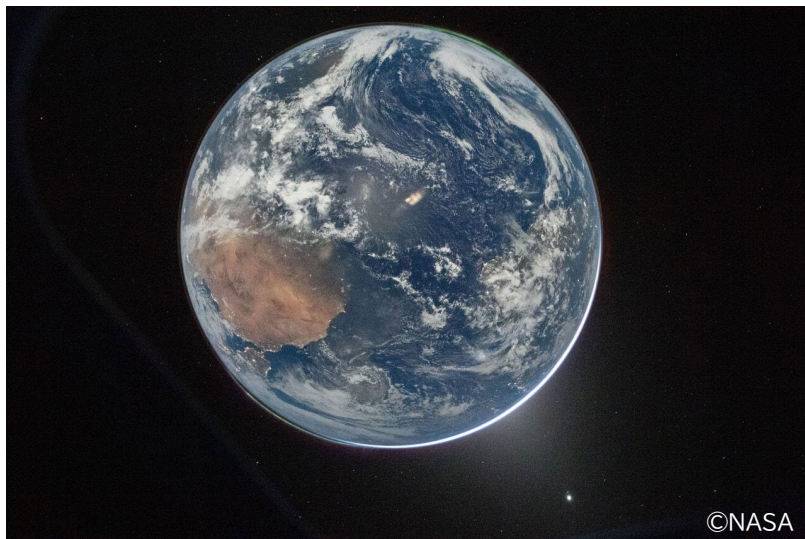
[役職]

立命館大学宇宙地球探査研究センター 副センター長
立命館大学デザイン科学研究所 副所長
日本システムダイナミクス学会 理事
日本経営システム学会 評議員
『デザイン科学』編集委員



アルテミスⅡ打ち上げ成功 54年ぶりに人類が月の重力圏へ

- 2026年4月1日(米国)にケネディ宇宙センターから打ち上げ
- 4人の宇宙飛行士が宇宙船「オリオン」に搭乗し、月軌道周回に成功
- 地球からの距離は約40万6000キロメートルに達し、地球から最も遠い地点に人類が到達したミッションとなった




「オリオン」から撮影された地球、右下に見えるのは金星



「オリオン」から撮影された月面
右半分は地球から見えている表側、左半分は月の裏側

宇宙戦略基金事業(第一期) SX研究開発拠点(共用型)採択


 私立大学で採択されたのは、
立命館だけ！

- 2024年1月31日、「SX研究開発拠点(課題名:月面探査・利用を産業化するための宇宙機器開発・人材育成拠点)」に採択
- 月・火星面を再現した研究環境と月面開発のための地表・地下の探査・調査技術の開発を通じて、非宇宙分野を含む産業クラスター形成と産業を支える**宇宙人材の育成**など、**関西地区**から**宇宙技術開発の活発化**に取り組む

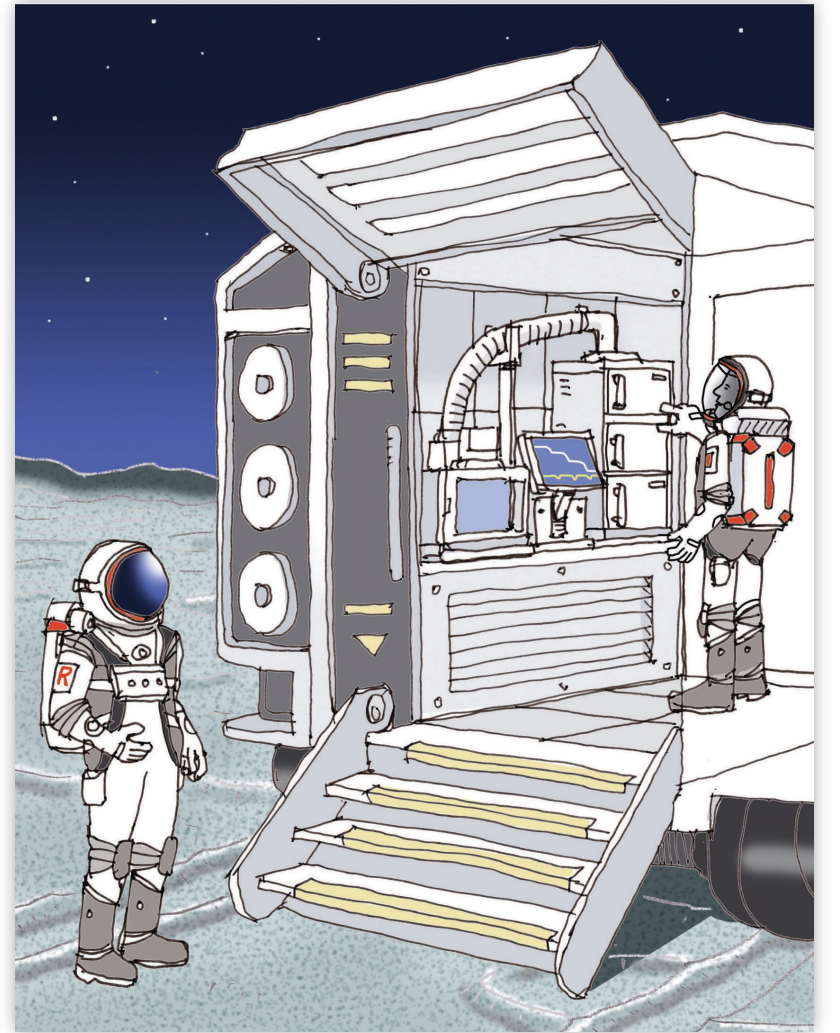
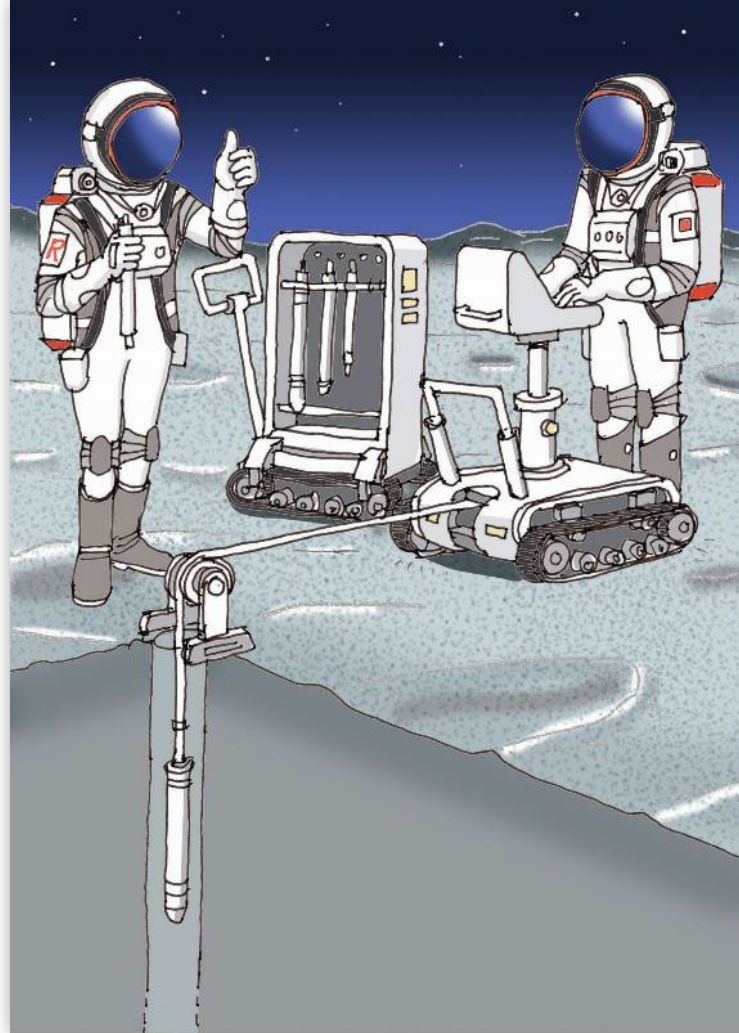
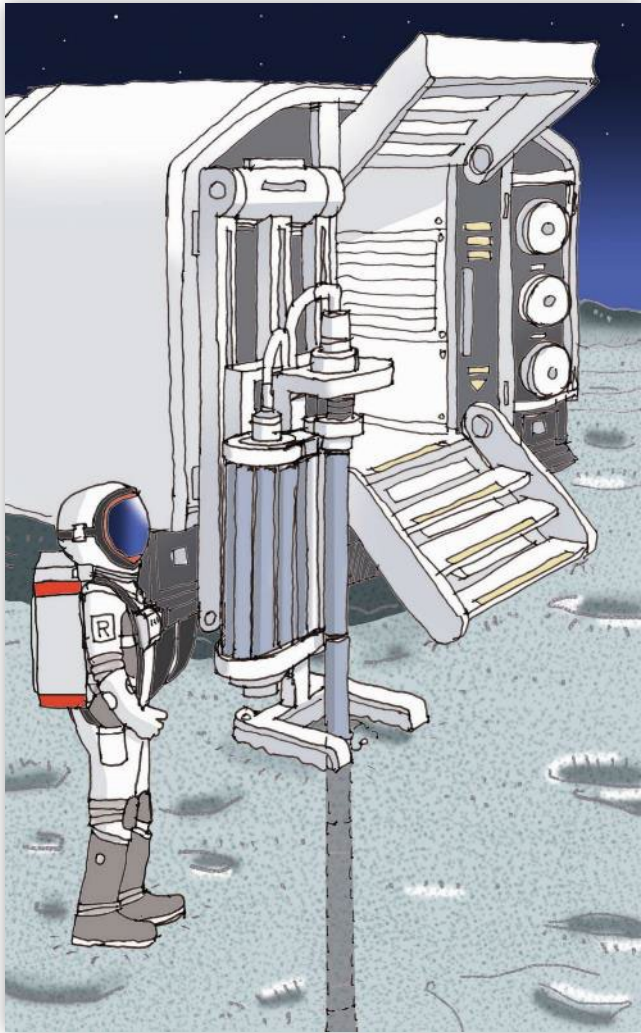


画像:NASA/JPL-Caltech/ASU/MSSS



画像:明星電気ウェブサイト

3種類の観測機器を開発



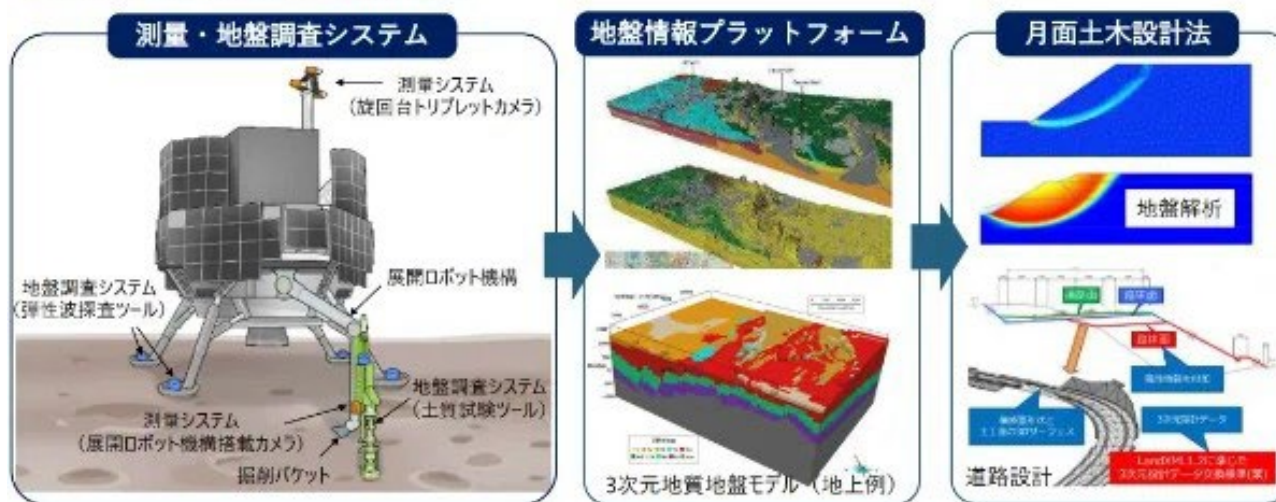
宇宙戦略基金事業(第二期)

「月面インフラ構築に資する要素技術」採択

- 2025年10月10日「月面インフラ構築に資する要素技術(課題名:月面拠点建設を実現するための測量・地盤調査技術の確立)」に採択
- 月面インフラ構築のための「調査法」と「設計法」の研究開発を行う

「構想」から「計画」へ：月面インフラ構築のための「調査法」と「設計法」の構築

- 月面における建設施工や資源開発で必要となる高精細な3次元地形情報を取得するための「**測量システム**」
- レゴリスの土質特性や地層構造などの土質情報を取得するための「**地盤調査システム**」
- 地下の地層や地盤の物性の3次元的な拡がり表現する「**地盤情報プラットフォーム (3次元地質地盤モデル)**」
- 月面拠点建設のための「**土木設計法**」



有人与圧ローバーの開発に関する JAXAとの連携協定締結

- 2024年4月、日米間で「与圧ローバによる月面探査の実施取決め」に署名がなされ、日本は**2031年**を目標に月面活動で唯一無二の貢献となる有人与圧ローバを実現すること、並びにNASAは**日本人宇宙飛行士**による2回の**月面着陸機会**を提供することが合意
 - ・ 月面での「居住機能」と「移動機能」を併せ持つ、世界初の有人与圧ローバシステムの実現を目指し、研究開発を行う
- 2025年3月27日、学校法人立命館とJAXAとの間で、**有人与圧ローバーの研究開発**及び**月面探査の検討・普及**に関する連携協定を締結
 - ・ 有人与圧ローバーの探査性能向上を目指すとともに、月面探査の新たな可能性を広げるために協力

宇宙地球フロンティア研究科(仮称)設置構想

- 国内最大級の宇宙系大学院の設置を構想中
- 理学×工学×マネジメント**を融合した研究・教育
- 2028年4月開設予定



宇宙やるなら立命館！



立命館宇宙マネジメントプログラム
SPACE MANAGEMENT PROGRAM

立命館
宇宙マネジメント
プログラム



構想の背景

1. 世界的な宇宙産業の市場拡大
 - Space Xをはじめ新興宇宙ベンチャーによる市場参入
 - 中国、インド、ニュージーランド、アフリカ・南米諸国の急成長
 - 宇宙戦略基金により2024年～10年間で1兆円の公的資金を投入
2. 宇宙(ビジネス)人材の不足
 - 宇宙機関のみならず、既存宇宙企業、新興宇宙ベンチャー間での人材獲得競争が激化し、将来的に国内における宇宙人材の不足
3. 立命館学園としての新たな挑戦
 - 学園ビジョンR2030チャレンジ・デザインにおける理工系分野の新たな展開として、「宇宙・地球フロンティア」への挑戦を掲げる

育成する人材像

- 宇宙開発プロジェクト・宇宙ビジネスに従事するにあたり最低限求められる**技術的な基礎知識**を有し、宇宙の**研究開発・事業開発・探査ミッション**等の進め方を体系的に理解することで、多国籍かつ多分野の専門人材と**協働**して**プロジェクト**を成功に導く**マネジメント**能力を持った人材を育成する

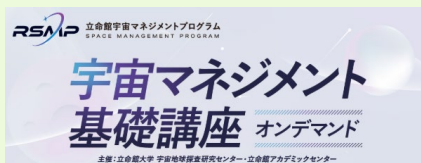


プログラム概要(2026年度)

宇宙マネジメント基礎講座

- 宇宙開発の基礎知識
- 月面探査の基礎知識
- 有人探査の基礎知識
- 研究開発マネジメント
- 宇宙ビジネス／経営管理の基礎
- 宇宙法／宇宙政策の基礎

対面講座とオンデマンド講座を実施

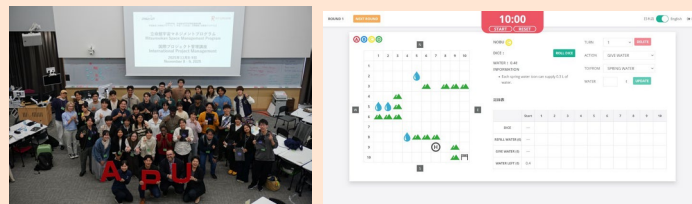


2026年5月30～31日(衣笠キャンパス)
 2026年9月12～13日(びわこ・くさつキャンパス)
 2026年11月28～29日(大阪いばらきキャンパス)

国際プロジェクト管理講座

- 国際的なチーム活動に不可欠なコミュニケーションスキル獲得 (APU)
- 宇宙飛行士訓練を応用した遠隔チーム行動訓練(オンライン)

対面講座とオンライン講座を実施



2026年6月20～21日(APU)
 2026年度内(オンライン)※予定

宇宙システム運用講座

- 月面探査ローバー模擬演習
- 野外環境フィールド訓練
 - ▶ カヤックを用いた訓練
 - ▶ リスクマネジメント訓練
 - ▶ 月面を模擬したチーム行動訓練 など

対面講座のみ



2026年9月9～11日(滋賀県内)

宇宙マネジメント基礎講座

●概要

- 宇宙に関わる基礎知識の獲得を目的とする座学を中心としたオンデマンドプログラムを受講後、知識の応用を目的に演習を中心とする対面プログラム
- 立命館大学の3キャンパス(衣笠キャンパス、びわこ・くさつキャンパス、大阪いばらきキャンパス)で開講
※取り扱うテーマは3キャンパスで異なります

●日程・場所

- 5月30日(土)～31日(日) 衣笠キャンパス
- 9月12日(土)～13日(日) びわこ・くさつキャンパス
- 11月28日(土)～29日(日) 大阪いばらきキャンパス

宇宙マネジメント基礎講座(衣笠)

- 日程
 - ・ 5月30日(土)～31日(日)
- 場所
 - ・ 衣笠キャンパス
- テーマ
 - ・ 宇宙法、宇宙と国際政治外交、宇宙開発における調達戦略 など
- 内容
 - ・ ゲスト講義
 - ・ ワークショップ『月・宇宙での活動のための国際的なルールづくりに挑戦！(仮)』 など



宇宙マネジメント基礎講座(BKC)

● 日程

- ・ 9月12日(土)~13日(日)

● 場所

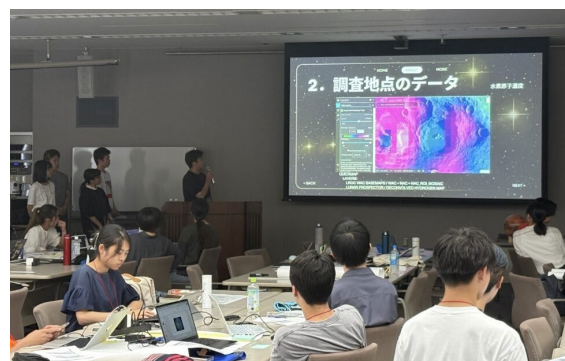
- ・ びわこ・くさつキャンパス

● テーマ

- ・ 宇宙開発・探査における理学・工学の基礎知識、ミッション設計 など

● 内容

- ・ ゲスト講義
- ・ ワークショップ『宇宙探査ミッション設計演習(仮)』 など



宇宙マネジメント基礎講座(OIC)

- 日程
 - ・ 11月28日(土)~29日(日)
- 場所
 - ・ 大阪いばらきキャンパス
- テーマ
 - ・ 宇宙ビジネス開発、宇宙ビジネスマネジメント
- 内容
 - ・ ゲスト講義
 - ・ ワークショップ『宇宙ビジネス開発(仮)』



国際プロジェクト管理講座 (APU)

● 概要

- ・ 国際的な宇宙開発プロジェクトや探査系ミッションへの挑戦を可能にすべく、居住地の異なる多様な人材が遠隔地であってもチームとして協調的に仕事を遂行できるようになるための能力開発プログラム

● 日程・場所

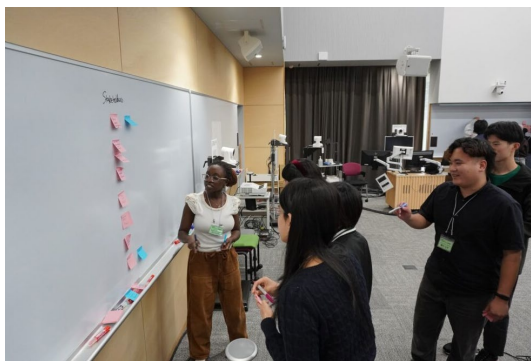
- ・ 6月20日(土)～21日(日) 立命館アジア太平洋大学

● テーマ

- ・ 国際コミュニケーション、国際プロジェクト管理、宇宙飛行資源管理(SFRM)に基づくソフトスキル

● 内容

- ・ ゲスト講義、国際コミュニケーション、異文化理解セミナー
- ・ ワークショップ『月・宇宙ビジネスプレゼンテーション(仮)』



宇宙システム運用講座(琵琶湖)

● 概要

- 宇宙機システムの運用、及びミッション・サクセスに不可欠な現場でのチームマネジメント(ストレスのかかる環境下での意思決定、リスクマネジメント)を疑似体験できるプログラム

● 日程・場所

- 9月9日(水)~11日(金) 滋賀県内

● テーマ

- チーム行動訓練、宇宙飛行資源管理(SFRM)に基づくソフトスキル

● 内容

- 野外フィールド訓練(カヤックを用いた水上訓練など)
- ローパー組立・走行訓練 など



mont-bell × R RITSUMEIKAN

フィールド訓練はモンベルさんに
指導・監修していただきます！



※イメージ



宇宙マネジメント基礎講座(オンデマンド)

宇宙マネジメント 基礎講座 オンデマンド



湊 宣明 | テクノロジー・マネジメント研究科 研究科長・教授、宇宙地球探査研究センター (ESEC) 副センター長
 佐伯 和人 | 総合科学技術研究機構 教授、宇宙地球探査研究センター (ESEC) センター長
 小林 泰三 | 理工学部 教授、宇宙地球探査研究センター (ESEC) 副センター長
 長岡 央 | 総合科学技術研究機構 准教授、宇宙地球探査研究センター (ESEC)
 仲内 悠祐 | 総合科学技術研究機構 准教授、宇宙地球探査研究センター (ESEC)
 川村 仁子 | 国際関係学部 教授、宇宙地球探査研究センター (ESEC)
 布施 哲人 | 立命館大学 総合科学技術研究機構 客員協力研究員、宇宙地球探査研究センター(ESEC)/九州工業大学 革新的宇宙利用実証ラボラトリー 特任准教授

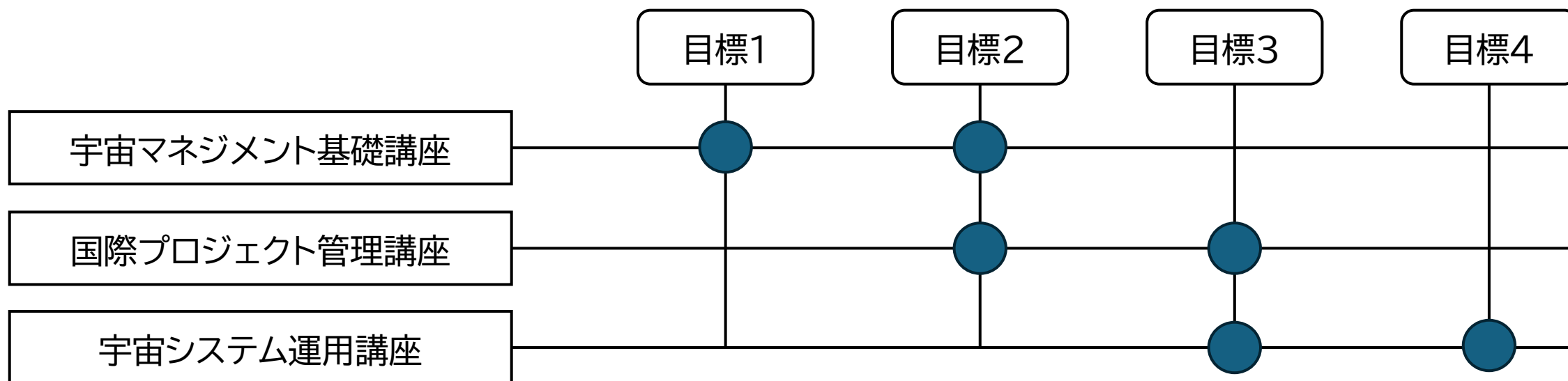
【内容】

- 宇宙開発の基礎知識
- 地球科学の基礎知識
- 月を目指すための基礎知識
- 宇宙をめぐる国際関係
- 宇宙に関わる法
- 国内の宇宙関連法
- 宇宙機システムの研究開発
- 宇宙ビジネスの経営管理

対面講座の事前課題として受講を必須とします(受講方法は、対面講座の受講確定後に案内します)

受講生の到達目標

1. 宇宙に関する基礎的な技術知識・ビジネス知識・法律知識を体系的に理解できる
2. 宇宙分野の研究開発・事業開発の進め方を理解し、プロジェクトを設計・管理できる
3. 多国籍集団かつ遠隔作業においてプロジェクトチームとして行動能力を発揮できる
4. ストレスのかかる過酷な環境でもリスクを管理し、ミッションを成功に導くことができる



募集要項

1. 応募資格(求めるスキル・実施形態)
2. プログラムの実施期間および実施場所
3. 募集人数
4. 募集スケジュール
5. 選考について
6. 費用について
7. 修了証・注意事項
8. 応募方法
9. 問い合わせ
10. アンケート



立命館宇宙マネジメントプログラム
SPACE MANAGEMENT PROGRAM

1. 応募資格

- 立命館大学、立命館アジア太平洋大学に在籍する学生

※所属学部・学年は問いません

※ただし、定員を超過する場合は、所属・学年のバランスを考慮し、3回生以下を優先的に選考します

- 留学生においては、言語基準(日本語)のうち、1つ以上に該当すること

<立命館大学の留学生>

- ・日本語能力試験(JLPT)の**N2**を取得していること
- ・日本留学試験(EJU)・日本語科目で、**250点以上**の点数を取得していること
- ・**「日本語VI」**または**「日本語VII」**を履修済みであること

<APUの国際学生(英語基準)>

- ・日本語能力試験(JLPT)の**N2**を取得していること
- ・日本留学試験(EJU)・日本語科目で、**250点以上**の点数を取得していること
- ・**「日本語中級」**を履修済みであること

1. 応募資格

● 過年度に受講した講座と重複していないこと

※2025年度までに受講した講座と同じ講座には応募することはできません。

※2025年度に宇宙マネジメント基礎講座(BKC)と宇宙システム運用講座の両方に参加した方は、今年度両講座を一貫して開催するため応募することはできません。
 どちらか一方のみ受講した方は応募可能です。

応募・受講可否		2026年度に応募・受講できる講座			
		宇宙マネジメント基礎講座 (衣笠)	宇宙マネジメント基礎講座 (BKC) 宇宙システム運用講座 (琵琶湖) ※一体開催	宇宙マネジメント基礎講座 (OIC)	国際プロジェクト管理講座 (APU)
2025年度に受講した講座	宇宙マネジメント基礎講座 (衣笠) 受講した	×	○	○	○
	宇宙マネジメント基礎講座 (BKC) 受講をした 宇宙システム運用講座 (つくば) 受講していない	○	○	○	○
	宇宙マネジメント基礎講座 (BKC) を受講した 宇宙システム運用講座 (つくば) を受講した	○	×	○	○
	宇宙マネジメント基礎講座 (OIC) を受講した	○	○	×	○
	国際プロジェクト管理講座 (APU) を受講した	○	○	○	×

求めるスキルと実施形態

●求めるスキル

1. 宇宙に**関心**があり、学ぶ**意欲**があること
2. チームでの活動や**コミュニケーション**を大切にし、グループワークに**積極的**に参加できること
3. 最低限の**パソコンスキル**を有すること (Wordを用いたレポート)

●実施形態

- 対面開催
※オンデマンド講座や一部のオンライン講座を除き、オンライン配信はしない
- 使用言語：**日本語**
※「国際プロジェクト管理講座」(APU)の一部では**英語**を使用

2. プログラムの実施期間および実施場所

宇宙マネジメント基礎講座(衣笠)	・2026年5月30日(土)・31日(日)
国際プロジェクト管理講座(APU)	・2026年6月20日(土)・21日(日)
宇宙システム運用講座(琵琶湖) 宇宙マネジメント基礎講座(BKC)	・2026年9月9日(水)~13日(日)
宇宙マネジメント基礎講座(OIC)	・2026年11月28日(土)・29日(日)

※各講座の受講には宿泊が必須です。

※宿泊先は、「宇宙マネジメント基礎講座」「国際プロジェクト管理講座」は各キャンパスのセミナーハウス、「宇宙システム運用講座」は滋賀県内の宿泊施設の予定です。

3. 募集人数

- 各講座**40**名
- 募集方式

- マスターコース **先行募集**
すべての講座に参加を希望する学生
- フレックスコース
講座ごとの参加を希望する学生

※宇宙マネジメント基礎講座(BKC)と宇宙システム運用講座は一括で募集



2025年度の全講座修了生

応募多数の場合は**選考**を行います。

なお、先行募集を行う**マスターコースが定員を満了した場合、フレックスコースの募集は行いません。**

体系的な学びを得るために、全講座の受講を強くおすすめします！

4. 募集スケジュール

●マスターコース

募集期間	2026年4月6日～ <u>4月20日(月)17:00</u>
合否発表 (予定)	2026年4月24日17:00 (予定)

●フレックスコース

	宇宙マネジメント 基礎講座 (衣笠)	国際プロジェクト 管理講座 (APU)	宇宙システム 運用講座 (琵琶湖)	宇宙マネジメント 基礎講座 (BKC)	宇宙マネジメント 基礎講座 (OIC)
募集時期 (予定)	2026年4月21日～2026年4月24日		2026年7月1日～2026年7月17日		2026年10月上～中旬
合否発表 (予定)	2026年4月28日		2026年7月24日		2026年10月下旬
実施日時 (予定)	2026年5月30～31日	2026年6月20～21日	2026年9月9～13日		2026年11月28～29日

※マスターコースが定員に達しない場合のみ募集します(Student Portal等で募集告知)

5. 選考について

●選考基準

- ① 宇宙への興味と関心
- ② 将来、宇宙の魅力の発信や普及もしくはビジネスにつなげるための意欲
- ③ 仲間や教員と積極的にコミュニケーションをとる姿勢
- ④ 言語基準を満たしているか(留学生のみ)

●選考方法

- ・ 応募内容をもとに実施
- ・ メールにて可否連絡

6. 費用について

●受講料:**無料**

- プログラム実施にかかる長距離移動の交通費・宿泊費等の費用は原則として大学が負担しますが、**自宅から集合場所までの交通費**や**現地での食事代等**に**一部、自己負担**が生じます

<大学が負担する費用>

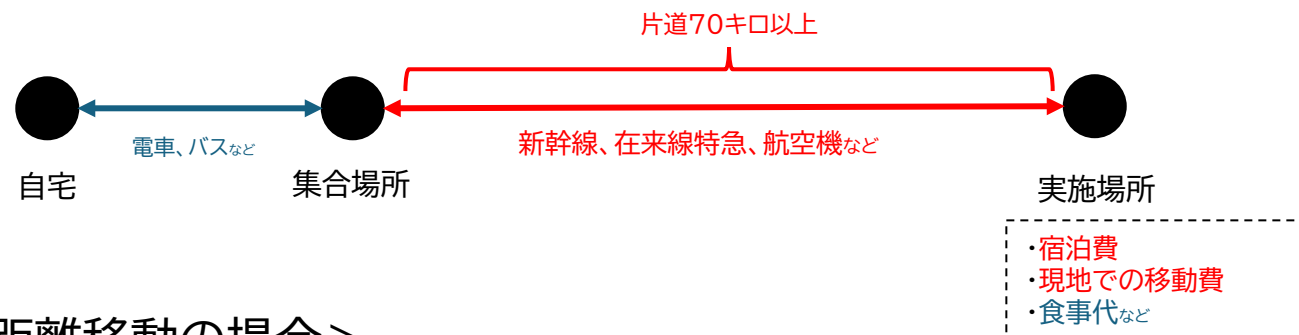
RU学生	<ul style="list-style-type: none"> 各講座の<u>宿泊費</u> 「国際プロジェクト管理講座」に参加する際の、集合場所(JR京都駅)からAPUまでの<u>交通費</u> 「宇宙システム運用講座」に参加する際の、集合場所(滋賀県内のJR駅)から現地までの<u>交通費</u>
APU学生	<ul style="list-style-type: none"> 各講座の<u>宿泊費</u> 「宇宙マネジメント基礎講座」に参加する際の、集合場所(JR別府駅)からBKC・OIC・衣笠までの<u>交通費</u> 「宇宙システム運用講座」に参加する際の、集合場所(JR別府駅)から滋賀県内までの<u>交通費</u>

6. 費用について(補足)

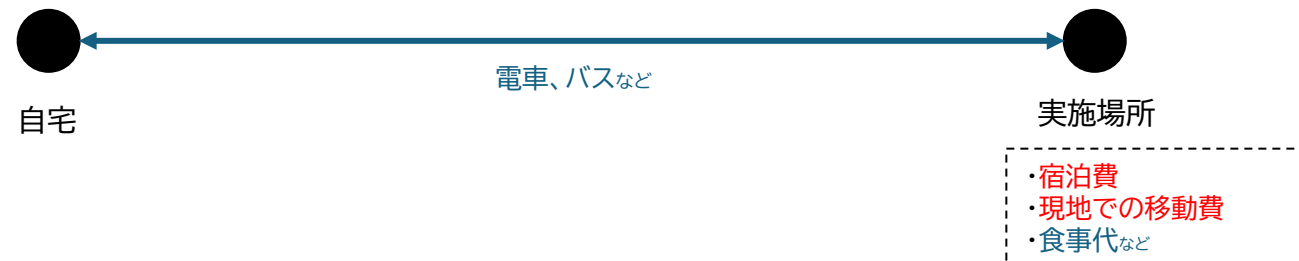
<長距離移動が発生する場合>

※長距離移動は**集合場所を起点**に片道100km以上の移動を指します

※自宅から実施場所が片道100km以上あったとしても該当しません



<近距離移動の場合>



7. 修了証・注意事項

● 修了証

- 各講座の終了時に**確認テスト**、**アンケート**を実施
- テスト、アンケートの回答を確認次第、講座ごとに「**講座修了証**」を発行
- マスターコース修了者には「**プログラム修了証**」を発行


● 注意事項

- 本プログラムは正課外のプログラムのため、**単位認定は行わない**
- 合否発表後の**参加辞退は、原則として受け付けない**

正課の授業や就職活動、部活・サークルの活動との重複がないか、スケジュールをしっかりと確認した上で応募してください。

8. 応募方法

- 応募フォームから期日までに申し込み
【マスターコース】

 フレックスコース(講座ごと)の募集開始は、STUDENT PORTALなどでお知らせします



<https://forms.cloud.microsoft/r/JB0wNP35Bd>



募集要項や応募フォームのほか、最新情報が確認ができます！

9. 問い合わせ

- 立命館宇宙マネジメントプログラム事務局(総合企画課)

Email: spacemp@st.ritsumeai.ac.jp

TEL: 075-813-8130

HP: <https://www.ritsumeai.ac.jp/rsmp/>

立命館宇宙マネジメントプログラム



募集要項や応募フォームのほか、
最新情報が確認ができます！

10. アンケート

本日はご参加ありがとうございました。
アンケートへのご協力をお願いいたします。



<https://forms.cloud.microsoft/r/m0QVgFhDSA>